

平成19年度第3回鹿児島市地域情報化推進委員会概要

1 開催日時

平成20年1月22日（火） 11:00～12:00

2 開催場所

鹿児島市役所東別館9階特別中会議室

3 出席者

- (1) 委員12人（池堂委員、市原委員、久保委員、坂元委員、萩野委員長、久永委員、吹留委員、藤田委員、松尾委員、宮之原委員、森副委員長）
- (2) 事務局8人（情報政策課長、情報政策課5人）

4 会次第

(1) 開会

(2) 協議

- ア 鹿児島市地域情報化推進委員会（第2回）における意見への対応について
- イ 第二次鹿児島市地域情報化計画（案）に係る市民意見の概要及び対応状況について
- ウ 第二次鹿児島市地域情報化計画（最終案）について
- エ その他

(3) 閉会

5 議事の概要

(2)ア、ウ 第二次鹿児島市地域情報化計画（最終案）について（ア、ウ一括して協議）

委員	資料2の9、資料3の7-1にあるが、あらためて、今回の計画の目玉は具体的には何か。計画案のP18-19を見ると情報の質を重視しているように見受けられ、これはこの先5年間非常に重要なことであるので、その旨を一言ここに書けないか検討されたい。
事務局	市としては現在子育て・環境・観光に力を入れている。本計画は総合計画を支援する計画との位置付けであるが、前述の分野がイコール情報化とは必ずしもならない。 情報化の質に関してのご意見は、ご指摘の内容を検討したい
委員	計画案のP18-19は重要な箇所になると思われる。4つの課題に○がついていると力を入れるように感じられるが、何も○がないと力を入れるように感じないので、新規の施策など、どういうテーマで入れたのか、何か示した方が分かりやすいと思う。4つの課題の欄の横に総合計画の欄を作ることを検討されたい。
委員長	総合計画の欄も図の右側にあった方が見やすいと思う。
事務局	ご意見として検討する。

委員	計画は利活用されないといけないので、今後の進捗に注目している。計画の内容としては満足している。
委員	P38の推進体制の図には、NPO等の連携について書く必要はないか。
事務局	ここの図は計画の推進体制の説明であり、P36の8つの視点の中で、NPO等との協働について触れている。

(2)イ 第二次鹿児島市地域情報化計画（案）に係る市民意見への対応状況について

事務局	(資料に基づき説明)
委員	15人というのはパブリックコメントの数としては多いのか、少ないのか。
事務局	市民の興味がある子育てといった分野では3桁いくものもあるが、専門性のある本計画のようなものとしては多い方だと思う。

(2)エ その他

委員	先日行われた桜島爆発の避難訓練の際の安否確認の評判はどうだったか。
事務局	安心安全課の事業だが、詳細は把握していない。
委員	この計画を作って外に対して情報化といているが、管理する側の体制としての行政でも職員のパソコンの習熟度にかなり差があるので、対応する必要があるのではないか。
事務局	庁内においては各課に情報化リーダーを任命してパソコンの習熟を図っている。
委員	以前の市のホームページは課ごとに作成していたと理解しているが、リニューアル後はどうなるのか。情報を発信する側のレベルを考えていかないといけない。
事務局	リニューアル後も各課が作成する。
委員	今まではこうやっていた、これからはこうしていくという違いが分かりづらいので、その違いが分かるようにしていただけたらと考える。